

生徒・地域とともに取り組む 交通安全教育



神奈川県
PRキャラクター
かながわ
キンタロウ

Kanagawa Prefectural Government

神奈川県教育局指導部保健体育課
指導主事 佐藤 栄嗣

神奈川県立津久井高等学校
校長 熊坂 和也

みんなの交通安全教育推進運動 「スタートかながわ」

- 事故を未然に防ぐための知識・技能を定着
- 交通事故の防止に向けて主体的に考え行動できる

めざす姿

生涯にわたって

くるま社会を生きる力を育成

神奈川県交通安全教育



第4回

自転車交通安全教育の時間



チリリン・タイム

中・高生

事故にあわないためには、どうすればいいの？



【自転車の危険行為について】

高校生のAさんが自転車で道路を走行していると、スマホにメッセージが届きました。Aさんは内容が気になってしまい、自転車を運転しながら携帯電話を開いて操作しました。すると、前から歩いてきた歩行者に気づかずにつぶかってしまい、歩行者に怪我をさせてしまいました。

Check!

自転車における危険な行為

どんなことが危ないの？



【信号無視】



【通行区分違反】
(右側通行等)



【一時不停止】

一時停止の標識や停止線で止まらないと、安全確認が不十分になり、優先道を進行する車両等と衝突する可能性がある。

【二人乗り】



確実なハンドル、ブレーキ操作ができない！危険！

【歩道通行】

歩道は歩行者優先。自転車が自分勝手な運転をすると、歩行者の進行を妨げたり、事故の原因になる。

【携帯電話使用】



視野が狭い！危険！

【無灯火】



暗くて周りが見えない！周囲に自分の存在を示せない！危険！

【イヤホン等使用】



周囲の音が聞こえない！危険！

【傘差し運転】



周囲が見えない！確実なハンドル操作ができない！危険！

【並進】

並んで走行すると、道路上で幅を取ることで、他の車両等の進行の妨げになる。

【その他】



飲酒運転なんてもってのほか！

令和5年1月～7月末
神奈川県内の中・高生で
特に多いのは

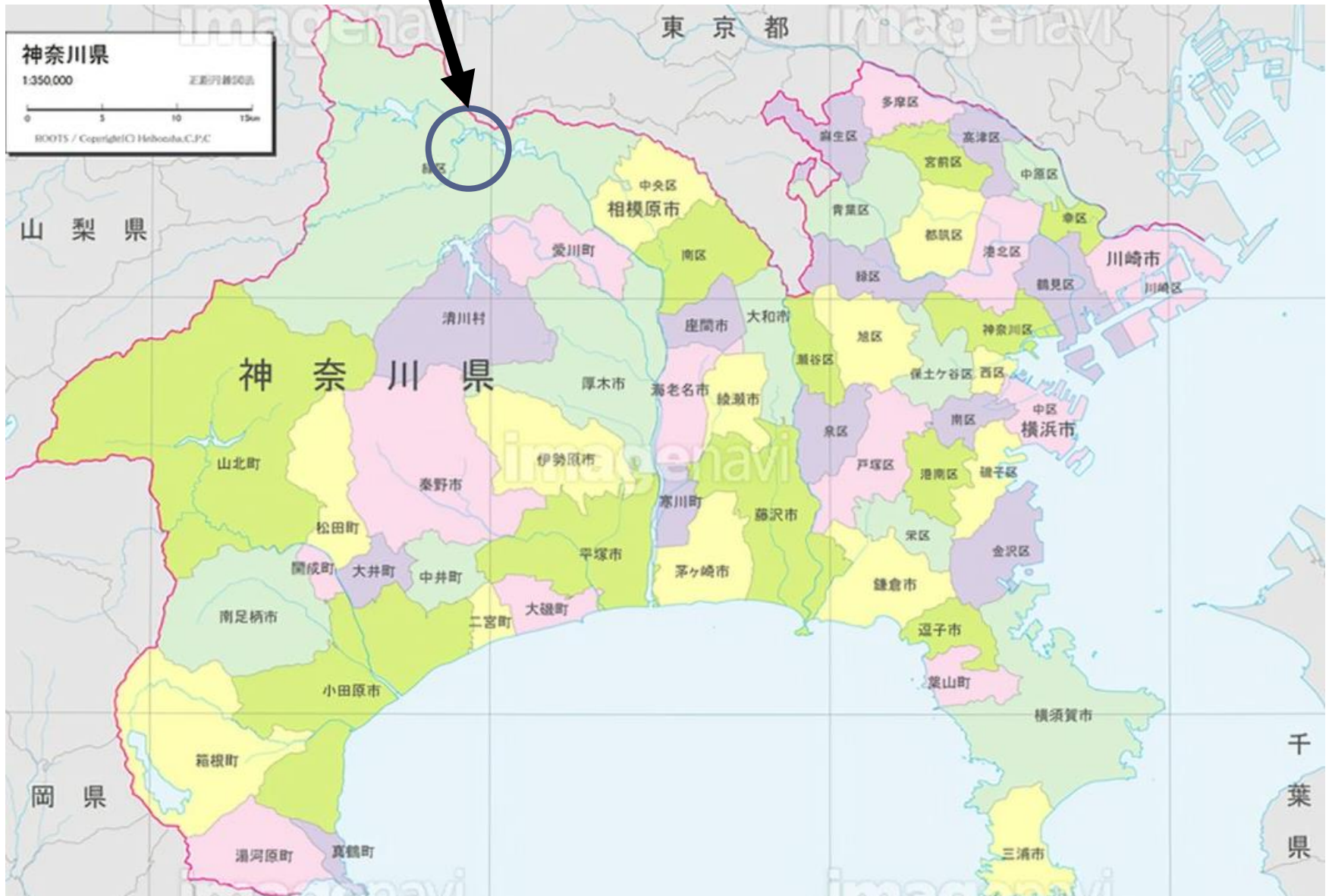
1位 並進

2位 イヤホン等使用

3位 無灯火

- 永長 知孝 准教授（関東学院大学理工学部）
- 加藤 麻里子 P T A 会長（県立津久井高等学校）
- 塚本 善治 交通課長（県警津久井警察署）
- 佐藤 裕幸 所長（相模原市城山まちづくりセンター）
- 内田 和也 所長（相模原市津久井まちづくりセンター）

津久井高等学校の所在地・通学事情



原動機付自転車通学（導入）

■ バイク駐輪場（前方・横から見た写真）



- 在住地域
- 車両及び運転時の安全確保
- 安全講話と**実技講習会**
- その他

- 5%
- 日常の声掛け・目配り
- 見られている意識

安全講話と実技講習会

■安全講話（左）、実技講習会（右）



実技講習会の様子①



実技講習会の様子②



PTA/津久井警察署/津久井交通安全協会
の他、相模原市の協力も得て取組を展開
秋には、生徒の交通安全委員会も動く

自転車通学時のヘルメット着用義務
スローガンは「命を守る」

相模原高校生交通安全大会（生徒発表）



交通安全デー



ヘルメット着用義務化の壁

- 中学校までは着用していたのに・・・。
 - 👉 高校生になってまで？
- 危ないことなんてないから・・・。
 - 👉 今まで事故にあわなかっただけでしょ！
- 努力義務でしょ・・・。
 - 👉 自分の命がかかっています！
- 髪型が乱れるからいや、かっこ悪いし・・・。
 - 👉 だったら他の通学手段を検討しなさいよ！



ヘルメット着用義務スタート

- 学校の姿勢・考え方の発信を継続
- 命を守る取組であることを強調
- 2学期始業日は交通安全デー
WITH PTA・津久井警察署
津久井交通安全協会・相模原市
- ヘルメット着用の呼びかけを継続



スケアードストレイト

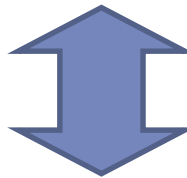
■ 車への二輪車の巻き込み、自転車同士の衝突



ヘルメット保有率100% 着用率70%



根くらべ



生徒の命を守る